

## 1. 第三者評価結果概要表

作成日 平成21年 4月 6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2891300028		
法人名	医療法人社団 正峰会		
事業所名	グループホーム メディケア柏原		
所在地	兵庫県丹波市柏原町柏原1436 - 1 (電話) 0795 - 72 - 3326		
評価機関名	特定非営利活動法人 姫路市介護サービス第三者評価機構		
所在地	兵庫県姫路市安田三丁目1番地 姫路市自治福祉会館6階		
訪問調査日	平成21年 3月10日	評価確定日	平成21年 4月 6日

## 【情報提供票より】(平成21年 2月25日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成19年 5月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤 12人, 非常勤 2人, 常勤換算 13人	

## (2) 建物概要

建物構造	耐火構造	造り
	2階建ての	1 ~ 2階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 200,000円 ) 無	有りの場合 償却の有無	有 / (無)	
食材料費	朝食	350 円	昼食	550 円
	夕食	550 円	おやつ	150 円
	または1日当たり		円	

## (4) 利用者の概要(2月25日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	5	要介護2	9		
要介護3	0	要介護4	2		
要介護5	0	要支援2	2		
年齢	平均 85 歳	最低	76 歳	最高	97 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	大山病院、八木歯科
---------	-----------

## 【第三者評価で確認されたこの事業所の特徴】

開設より2年目を迎えたグループホームメディケア柏原は、丹波市のJR柏原駅より徒歩7～8分の場所に位置し、近隣には商店街やスーパーがある生活に便利なホームであると共に、丹波の森公園、水分かれ公園などの憩いの場が近くにある自然環境に恵まれた場所でもある。1階と2階フロアに18名で生活されており、管理者と職員は、理念に基づいた利用者一人ひとりの思いに沿った心の通い合うケアに取り組まれている。利用者それぞれの思いに沿い、以前住んでおられた住宅を訪れたり、馴染みであった食堂で食事をしたり、家族の墓参りに同行したり等、の援助が行われている。利用者の日々の生活は、満たされる思いからか、穏やかな暮らしになっていることが伺えた。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目: 第三者4)
	前回の評価以後、家族会が発足している。また、ケアプラン作成の不十分さを認識していた為、職員全員に啓蒙し、改善につなげた。モニタリング、カンファレンスを月1回行い、実施可能なケア計画の作成に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目: 第三者4)
	職員全員が参加する全体ミーティングで、自己評価及び第三者評価を実施する意義を再認識し、職員全員で手分けして自己評価を行った。その中から個別ケアの重要性や理念を抛り所とした、日々のケアを見直す機会となっている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目: 第三者4, 5, 6)
	地域の区長・民生委員・介護相談員・家族の代表・介護保険課長等が参加される運営推進会議が、3ヶ月に1回定期的に開催され、ホームや利用者の現状報告がされている。会議内容から、グループホームとは?どんな方が暮らしているのか?等、地域住民の理解を得る必要性を感じ、今年度は地区の総会、区長会議に出向き、ホームの紹介と認知症状の説明を行う予定がある。ホームをより広く知っていただき、地域に根付かれることを期待したい。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目: 第三者7, 8)
	家族会が発足し、家族代表として運営推進会議に参加していただいている。また、年に1回、アンケートを実施している。面会時の苦情も含め、それぞれの機会での意見、苦情等をシートに記録の上、職員間で共有している。今後は、アンケート結果や外部評価の結果を運営推進会議等で公開し、ケアの向上に役立てていただきたい。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目: 第三者3)
重点項目	利用者は、夏祭りや織田祭りに参加している。個人の生きがいとして、カラオケ教室に通われている方もいる。また、書道教室に通うことも検討中である。地域のボランティアの来訪もあり、それぞれの機会での地域の方たちとの交流に努めている。今後は、災害対策面でも地域の人々の協力が得られるような働きかけを期待したい。

## 2. 第三者評価結果票

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ご利用者お一人おひとりの想いと地域の生活文化を大切にし、心の通い合うケアを目指す。」を事業所独自の理念としてスタッフと共につくりあげている。また、定期的に見直しも検討されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	事業所内の職員が目に触れるところに掲げ、日々の業務の中で理念を振り返る習慣を身につけ、理念が職員一人ひとりの身近なものとなっている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	利用者が地域の夏祭り等の行事に参加したり、地域のカラオケ教室や習字教室に参加し、交流している。また、太鼓や踊り等の地域ボランティアの訪問がある。管理者は、地域の区長会議に参加してグループホームの紹介を行い、交流を深めるべく取り組む努力をされている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が参加する全体ミーティングで、第三者評価の意義を再認識して、改善点について検討し深めている。自己評価の項目については、職員全員で手分けして記録している。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>地域の区長・民生委員・介護相談員・家族の代表・介護保険課長等の参加される運営推進委員会を、3ヶ月に1回定期的に開催し、事業所の現状や利用者について報告したり、地域のグループホームの紹介等がされている。</p>		
6	9	<p>市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>丹波市より介護相談員の訪問が2ヶ月に1回あり、グループホームの利用者や職員への面接が行われて、指導を受たりしている。また丹波市介護保険課から運営推進会議への参加があり、気軽に相談できる関係にある。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の預かり金の報告、利用者の毎日の様子や健康状態など、日勤及び夜勤帯に職員が記載する介護記録をすべてコピーして、1ヶ月に1回報告している。また広報誌を年4回発行してグループホーム内の様子を報告している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>昨年家族会が発足し、運営推進会議にも家族の代表が参加している。年1回、家族に対してアンケートを実施し、結果をまとめて職員にも読んでもらっている。</p>		<p>アンケートを実施して積極的に家族の意見を聞き、苦情等を報告するシートを作成している。利用者、家族の意見や苦情が発展的に業務改善へとつながるような仕組みをつくることで、更なる資質の向上を期待したい。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職務規程に退職の1ヶ月前に届けることを記載し、人員補充の努力はしている。昨年は職員の退職があり、入職時1週間は出来るだけ利用者とならぬことを最優先して、利用者には不安感がないよう配慮している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>内部研修として、毎月1回、職員が自主的にテーマを考えて講師となって学習会を開催している。外部研修については、法人から案内が随時あり、研修希望を聞き、研修に参加できる機会がある。</p>		<p>内部で積極的に研修会が開催されており、職員の学習意欲が感じられる。今後、事業所として1年間の研修計画を作成し、更なる成長を期待したい。また新入職員の教育マニュアル、チェックリストがあり、それに対応する研修計画の作成を期待したい。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>丹波市内の4施設のグループホームの管理者、職員が参加する交流会が定期的で開催され、出席している。そこで情報交換や事例発表などを実施している。</p>		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所前に、施設見学に家族と利用者が来所される。ホーム内の様子をお茶を飲みながら、利用者家族等の都合に合わせて、ゆっくりとした時間をもって頂くことが可能である。希望があれば、昼食も食べて頂くようにしている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>利用者と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>毎日の散歩が日課の方には、同行し、アイロンがけが得意な方には、役割を持って頂き、野菜作りが得意な方と一緒に畑仕事をす等、利用者の思いや好きなことを日々の生活の中で共に支え合って生活している。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>個別ケアを大切にして、利用者の意向を日々の会話の中で汲み取り、ケア計画に位置づけている。1ヶ月に1回、モニタリングやケアカンファレンスの中で職員間の共有を行っている。</p>		
<b>2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者の担当者を決め、ケア計画は担当者が作成するが、計画に基づき、毎月1回、モニタリングを実施しケアカンファレンスを開催している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>ケア計画は6ヶ月に1回作成している。計画に基づき、毎月1回モニタリングとケアカンファレンスを開催し、見直しが必要な場合は随時行っている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>帰宅願望のある利用者に対して、昔住んでおられた住居をみたり、昔馴染みの食堂で食事をしたり、家族の墓参りに同行するなど利用者の思いに沿った細やかで多様な外出支援を行っている。</p>		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科医師による定期的な訪問診察があり、必要時には相談できる体制がある。内科以外に皮膚科、歯科等、必要な医療機関に受診できるように、診察予約から診察の付き添いまで行っている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在のところは、終末期に向けて受け入れる方針を定めていない。家族からの要望や期待があることを把握しており、課題としている。		終末期の受け入れに対しては、制度として困難な課題もあるが、家族や医療関係者等の連携を深め、チームの中で利用者の尊厳を大切にしながら終末期ケアの方針策定を期待したい。
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	法人として、ISO(国際標準化機構)の認証を取得され、個人情報保護について取り組まれている。また日々の中で、利用者への言葉かけや対応について配慮している様子が確認できた。排泄については、各居室にトイレがあり、利用者の誇りやプライバシーを損ねないように、さりげなく居室に誘導している。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの個別ケアを大切にしている。体操や学習療法等、集団で行うが強制するのではなく、個人の好きなことを好きな時に出来るような環境となっている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者が畑で栽培した野菜を調理の一品に加え、食事の中で話題となり、職員と利用者が共に楽しい食事のひと時を持っている。茶碗やコップは個人のもので、それぞれがお気に入りのもを使用している。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や時間は固定せずに、利用者の身体状況や意向に沿って、夜間8時過ぎまで入浴できる。お一人の入浴所要時間も個人に合わせ、ゆったりと楽しむことができる。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常的に買い物については、職員が一人では行かず、利用者と一緒に出かけようにして、品物を選ぶ楽しみや役割がある。野菜の栽培や家事など得意なことを積極的に取り組める環境にある。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望者を募って、集団で水族館やドライブ、外食をする機会がある。日常的にも散歩やウォーキング等が日課となっている利用者もおられる。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	午前7時～午後8時までは、鍵をかけずに開放している。利用者が外に出かけたい時は、職員が同行している。鍵をかけないケアを職員全員で取り組まれている。		

第三者	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>1年に2回、消防規程に基づき、利用者と職員とで、夜勤体、日勤体の勤務態様に合わせ、シュミレーションに基づく防災訓練を行っている。</p>		<p>より具体的な防災訓練が実施されている。今後は地域の人々への協力が得られるような働きかけを期待する。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者の個人カルテに毎回の食事量や水分量を記録し、併せて健康チェックもできるシートとなっているため、状態変化や健康状態が把握しやすくなっている。</p>		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>建物の中心に中庭があり、光が入りやすく全体的に明るい。季節を感じられる利用者の手作りの作品が飾られて、楽しい共有スペースとなっている。トイレは広く、車椅子が入りやすい工夫がある。浴室(脱衣所)にもトイレが設置してある。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>基本的に家具や電化製品の持ち込みは自由となっている。ご自分の使い慣れたテレビや冷蔵庫等を持ち込まれ、その方の過ごしやすい部屋となっている。</p>		

 は、重点項目。